

# 学 科 紹 介



地域デザイン学部

## 江戸川まちづくり学科

1年次

### ● 目的・概要

江戸川区をより暮らしやすいまちにするために、自分にできる取り組みについて考えていきます。特に1年次は、①江戸川区を知る、②共に学ぶ仲間の良さを知る、ということを中心に授業を展開します。区内に出かけ、まちの魅力や文化を探る「えどがわの種探し」、いろいろなワークショップ手法(まちあるき、マップづくり等)の演習、学生によるまちづくりテーマの調査・発表等、楽しく実践的に学んでいきます。

学科長

### 佐谷和江

まちづくりコンサルタント  
(株)計画技術研究所 代表取締役

### ● 講 師

#### 竹迫和代

(ファシリテーター、参画はぐくみ工房 代表)ほか

### ● 曜日・時間 金曜日 14時～16時

### ● 1年次の授業計画

※内容や実施日等は一部変更になる場合もあります。

実施回	テーマ・概要
第1回 ┆ 第2回	<b>オリエンテーション(全2回)</b> 1年間の授業の流れなどを説明します。また、学生同士が楽しく知り合える「関係づくりワークショップ」や「まちづくりの概要」の講義を行います。
第3回 ┆ 第9回	<b>ボランティア・市民活動の現場訪問</b> 地元、江戸川区について勉強する時間です。学生の皆さんに地域に出てもらい、地域で活躍している方々と意見交換等の取り組みを通して、自分が市民活動のテーマとして取り組んでみたいと思う「江戸川区の魅力や課題」を探っていきます。 この授業は、自分にもできるまちづくりへの関わり方を発見し、改めて考える機会となります。住民参加型のまちづくりをテーマに、実践活動を行っている区内の活動団体を現地訪問し、その活動を見て、聞いて、習い、自ら取り組んでみたいと思う江戸川区の歴史や課題を探ります。フィールドワークの後半では、ワークショップによる意見交換を行い、理解を深めます。
第10回	<b>行政が進めるまちづくりから学ぶ</b> 行政が進めるまちづくりの学びを通じて、今後の自らが取り組みたい課題を探るきっかけをつかみます。
第11回	<b>民主的な会議の進め方</b> フラットな関係の仲間との会議を進めていく上で、大切にしたいポイントを学びます。

実施回	テーマ・概要
第12回 } 第16回	<p><b>「聴く・話す・まとめる」のスキルアップ</b></p> <p>5コマの授業を使い、学生同士が互いの主張を認め合いながら学びあうために必要な考え方、具体的なスキル(コミュニケーションの基本、ラベルワーク、ファシリテーショングラフィック)について実践を通して学びます。また、「篠崎駅周辺のまちを知る・見る」をテーマに篠崎駅周辺をグループでまちあるきし、普段とは違う見方でまちを歩くことの面白さを体感します。そしてまちあるきで気づいたこと、発見したことを地図に整理する手法を学びます。</p>
第17回	<p><b>参加型まちづくり概論</b></p> <p>“市民参加によるまちづくり”をテーマに先進的に現場で活動している実践者をお招きし、ワークショップの考え方やまちづくり事例を中心に学びます。</p>
第18回 } 第20回	<p><b>地域の魅力再発見</b></p> <p>地域の自慢の資源(モノ、人、その他)を写真や新聞記事などの形で持ち寄り、居住地が近い学生同士でグループを組み、各地域のPRプレゼンテーションを行います。</p>
第21回	<p><b>私の中の棚卸し</b></p> <p>自分にできる取り組み(ボランティア・市民活動等)は、どうしたら見つけることができるのか、見つけたらどう形にしていくのかについて講義を聞きます。</p>
第22回 } 第25回	<p><b>「地域の課題」フィールドワーク</b></p> <p>学生各自が、江戸川区のまちについて、「知りたいと思っていること」「気になっていること」、あるいは「こんなことできたらいいなと思っている地域貢献のイメージ」等を個人で調べ発表する、1年次のまとめ作業です。 発表は個人が原則ですが、学生が相互にアドバイスしあい、ワイワイと楽しく準備作業をしていきます。</p>
第26回 } 第29回	<p><b>「地域の課題」発表会</b></p> <p>学生各自が自分の住む地域や江戸川区全体に対して「気になっていること、関心のあること」について独自に調べたことや、考えたことを発表・ディスカッションします。</p>
第30回	<p><b>まとめ 1年間の振り返り</b></p> <p>1年間の成果、反省点を共有するとともに、2年目の課題研究に向けて、自分なりのテーマを発見します。</p>
単位外	<p><b>大学祭に向けて</b></p> <p>学びの成果を発表する大学祭への取り組みについて話し合います。(学生のみ)</p>

## ● 2年次の目的・概要

最終年度にあたることを意識し、卒業後の社会貢献活動の展開に結びつく「実践的な学び」を行います。特に、「社会貢献活動の企画力の向上」、「区と協働のまちづくり」、「組織づくりやネットワークづくり」に重点を置いたプログラムです。最終的には、卒業後の社会貢献活動につながる「卒業研究」を実施し、発表します。